



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月31日

上場会社名 前澤化成工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7925 URL <https://www.maezawa-k.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保 淳一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼上席執行役員管理本部長 (氏名) 齋藤 巖 TEL 03-5962-0711

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日 2023年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	11,725	3.1	819	△12.9	967	△11.2	638	△8.8
2023年3月期第2四半期	11,370	7.9	941	69.0	1,089	51.0	700	49.3

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,462百万円 (158.4%) 2023年3月期第2四半期 566百万円 (8.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	43.09	—
2023年3月期第2四半期	47.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	47,932	39,470	82.2
2023年3月期	46,506	38,357	82.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 39,382百万円 2023年3月期 38,268百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2024年3月期	—	25.00	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,600	0.4	1,580	△18.8	1,820	△18.2	1,200	△17.9	80.95

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	15,732,000株	2023年3月期	15,732,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	892,608株	2023年3月期	909,088株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	14,826,604株	2023年3月期2Q	14,822,419株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境に改善の動きがみられたことで、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、エネルギー価格の高騰、円安を主因とする物価高が継続している他、世界的な金融引き締めに伴い、海外経済減速の影響も懸念される状況にあり、国内経済の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループが関連する上水道・下水道業界及び住宅機器関連業界につきましては、政府による住宅取得支援策や低金利の継続が住宅購入層の需要を一定程度下支えている状況にはありますが、住宅価格の高騰や物価の上昇に加え、将来的な金融政策の変更に伴う住宅ローン金利の上昇懸念などから、当社の業績に影響が大きい戸建て住宅の新設住宅着工戸数は前期に比べ8%を超える落ち込みで推移するなど、厳しい経営環境にあります。

このような状況の中、当社グループは、「人々をゆたかにする心と技術をはぐくみ、社会のために幸せを創造する。」という企業理念のもと、持続的な成長と発展を図るため、中期経営計画「Look Forward 2023」で掲げた3つの施策「成長ドライバーの創出」「事業基盤整備」「ESGを意識した取り組み」を推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、戸建て住宅の着工戸数が減少する中、売上面では前期を上回る結果となりましたが、鋳物や金属、ゴム、段ボールといった原材料価格高騰の影響が大きく、利益面では前期を下回る結果となりました。

この結果、売上高は117億25百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益8億19百万円（同12.9%減）、経常利益9億67百万円（同11.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益6億38百万円（同8.8%減）となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①管工機材

管工機材事業につきましては、戸建て住宅の新設着工戸数が低調に推移する中、主力製品の売上確保とビル設備分野製品「ビニコア」の拡販を重点的に行ったことで、売上高は前期を上回りました。一方、利益面では、主要原材料である塩ビ樹脂価格が高止まりしていることに加え、鋳物や金属、ゴム、段ボールといった各種原材料価格高騰の影響を大きく受けたことで、前期を下回る結果となりました。

以上により、売上高は107億71百万円（前年同期比3.5%増）、セグメント利益8億81百万円（同10.3%減）となりました。

②水・環境エンジニアリング

水・環境エンジニアリング事業につきましては、お客様の水処理における「業務の効率化」と「環境保護」を目的とした多様な水処理システムの提案・施工を行うとともに、給排水衛生設備・農業用排水のポンププラントなど、各種工事の施工を行ってまいりました。

水処理システムの工事案件につきましては、民需での価格競争が激しく受注・売上ともに低調な結果となりましたが、2022年10月31日に連結子会社化した常陽水道工業株式会社が売上面で寄与し、売上高は前期を上回りました。

利益面では、民需の面で低調に推移したことや、常陽水道工業株式会社が手掛ける給排水衛生設備や農業用排水のポンププラント工事といった各種官需案件の工事進捗が下期に集中することなどから、前期を下回りました。

以上により、売上高は4億28百万円（前年同期比2.5%増）、セグメント損失59百万円（前年同期は41百万円のセグメント損失）となりました。

③各種プラスチック成形

各種プラスチック成形事業につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響が和らぐ中、受注回復への期待もありましたが、国内製造業の戻りはまだまだ鈍く引き続き厳しい経営環境にあります。このような状況の中、新規案件の受注獲得活動と並行して、自社ブランド製品の販路拡大に向けた営業活動を新潟県内の企業を中心に展開してまいりました。人員の適正化により原価低減に努めたものの、受注の減少により売上が伸び悩んだことで業績は前期を下回る結果となりました。

以上により、売上高は6億10百万円（前年同期比2.8%減）、セグメント利益5百万円（同54.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ14億26百万円増加し、479億32百万円となりました。これは主として、株価上昇に伴う投資有価証券の増加等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ3億13百万円増加し、84億62百万円となりました。これは主として、投資有価証券の含み益増加に伴い繰延税金負債が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ11億13百万円増加し、394億70百万円となりました。これは主として、投資有価証券の株価上昇に伴うその他有価証券評価差額金の増加や親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は106億47百万円となり、前年同期と比べ5億93百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、12億52百万円の収入となりました(前年同期は7億28百万円の収入)。これは主に、税金等調整前四半期純利益9億74百万円や減価償却費5億12百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億42百万円の支出となりました(前年同期は11億13百万円の支出)。これは主に、有形固定資産の取得による支出3億99百万円や無形固定資産の取得による支出56百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億62百万円の支出となりました(前年同期は3億83百万円の支出)。これは主に、配当金の支払額3億72百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月15日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,199	12,647
受取手形、売掛金及び契約資産	5,418	5,046
電子記録債権	4,065	4,299
有価証券	2,100	2,200
商品及び製品	2,298	2,235
仕掛品	770	844
原材料及び貯蔵品	849	893
その他	539	688
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	28,240	28,854
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,238	13,260
減価償却累計額及び減損損失累計額	△8,044	△8,217
建物及び構築物(純額)	5,193	5,043
機械装置及び運搬具	12,076	11,988
減価償却累計額及び減損損失累計額	△11,094	△11,105
機械装置及び運搬具(純額)	982	882
工具、器具及び備品	17,920	17,980
減価償却累計額及び減損損失累計額	△17,664	△17,766
工具、器具及び備品(純額)	256	213
その他	240	240
減価償却累計額及び減損損失累計額	△132	△140
その他(純額)	108	99
土地	4,353	4,353
建設仮勘定	90	108
有形固定資産合計	10,985	10,701
無形固定資産		
のれん	149	141
ソフトウェア	337	290
その他	2	75
無形固定資産合計	489	507
投資その他の資産		
投資有価証券	6,148	7,223
繰延税金資産	39	38
その他	751	755
貸倒引当金	△149	△149
投資その他の資産合計	6,790	7,868
固定資産合計	18,265	19,078
資産合計	46,506	47,932

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,953	3,012
電子記録債務	753	806
短期借入金	330	330
未払法人税等	447	398
賞与引当金	433	431
役員賞与引当金	59	22
その他	2,153	2,103
流動負債合計	7,130	7,105
固定負債		
長期借入金	60	60
繰延税金負債	262	623
役員株式給付引当金	50	41
役員退職慰労引当金	154	154
退職給付に係る負債	35	37
資産除去債務	224	225
その他	230	213
固定負債合計	1,018	1,356
負債合計	8,148	8,462
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,387	3,387
資本剰余金	6,363	6,368
利益剰余金	27,925	28,191
自己株式	△1,034	△1,014
株主資本合計	36,642	36,932
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,543	2,363
退職給付に係る調整累計額	82	86
その他の包括利益累計額合計	1,625	2,449
非支配株主持分	88	88
純資産合計	38,357	39,470
負債純資産合計	46,506	47,932

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	11,370	11,725
売上原価	7,269	7,720
売上総利益	4,100	4,005
販売費及び一般管理費	3,159	3,186
営業利益	941	819
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	69	74
受取賃貸料	44	46
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	38	30
営業外収益合計	156	157
営業外費用		
支払利息	3	2
賃貸費用	4	4
その他	0	0
営業外費用合計	8	8
経常利益	1,089	967
特別利益		
固定資産売却益	1	1
投資有価証券売却益	—	10
特別利益合計	1	11
特別損失		
固定資産売却損	2	—
固定資産除却損	6	2
リース解約損	2	2
本社移転費用	26	—
その他	1	—
特別損失合計	39	4
税金等調整前四半期純利益	1,052	974
法人税、住民税及び事業税	399	336
法人税等調整額	△47	0
法人税等合計	351	336
四半期純利益	700	638
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	700	638

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	700	638
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△138	820
退職給付に係る調整額	4	4
その他の包括利益合計	△134	824
四半期包括利益	566	1,462
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	566	1,462
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,052	974
減価償却費	546	512
のれん償却額	—	7
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	179	△1
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△17	△36
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	8	△9
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1	1
退職給付費用	5	6
受取利息及び受取配当金	△73	△80
支払利息	3	2
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△10
固定資産売却損益 (△は益)	0	△1
固定資産除却損	6	2
移転費用	26	—
売上債権の増減額 (△は増加)	31	135
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△615	△55
仕入債務の増減額 (△は減少)	156	81
その他	△237	△5
小計	1,067	1,522
利息及び配当金の受取額	74	80
利息の支払額	△3	△2
賃貸料の受取額	34	36
移転費用の支払額	△23	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△419	△382
その他	△2	△1
営業活動によるキャッシュ・フロー	728	1,252
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,000	△2,000
定期預金の払戻による収入	2,000	2,000
有価証券の取得による支出	△1,500	△1,500
有価証券の償還による収入	1,000	1,800
有形固定資産の取得による支出	△371	△399
有形固定資産の売却による収入	2	3
無形固定資産の取得による支出	△22	△56
投資有価証券の取得による支出	△203	△303
投資有価証券の売却による収入	—	17
その他	△17	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,113	△442
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,220	1,980
短期借入金の返済による支出	△2,220	△1,980
自己株式の売却による収入	0	24
配当金の支払額	△373	△372
その他	△10	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△383	△362
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△768	447
現金及び現金同等物の期首残高	10,821	10,199
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,053	10,647

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	管工機材	水・環境エンジニアリング	各種プラスチック成形	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2
売上高						
一時点で移転される財	10,395	171	556	11,122	-	11,122
一定の期間にわたり移転される財	-	247	-	247	-	247
顧客との契約から生じる収益	10,395	418	556	11,370	-	11,370
その他の収益	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	10,395	418	556	11,370	-	11,370
セグメント間の内部売上高又は振替高	10	-	71	82	△82	-
計	10,406	418	627	11,452	△82	11,370
セグメント利益又は損失(△)	983	△41	12	954	△13	941

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	管工機材	水・環境エンジニアリング	各種プラスチック成形	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2
売上高						
一時点で移転される財	10,763	273	533	11,570	-	11,570
一定の期間にわたり移転される財	-	155	-	155	-	155
顧客との契約から生じる収益	10,763	428	533	11,725	-	11,725
その他の収益	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	10,763	428	533	11,725	-	11,725
セグメント間の内部売上高又は振替高	8	-	76	84	△84	-
計	10,771	428	610	11,810	△84	11,725
セグメント利益又は損失(△)	881	△59	5	827	△8	819

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。